

いて

【概要】都市再生特別措置法の改定に伴い、防災指針の追加及び土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域の指定が市全域で完了したため、居住誘導区域の見直しを行う。

【主な質疑】

問 居住誘導区域には浸水想定区域が含まれているため、土砂災害だけの注意喚起だけでは不十分ではないのか。

答 浸水想定区域を居住誘導区域から外すことは本市の地形上難しいため、浸水対策のリスクを低減する取組を進めるとともに、市民への周知を行っていく。

（株）空・道・港（DMC）事業進捗報告（7月説明分）

【概要】補助金支援が終了した令和6年度の事業実績を報告する。

【主な質疑】

問 経常利益が赤字で、観光事業の売上が550万円しかない。このような状態で自走できるのか。

答 令和5年度に比べ売上高は改善している。今後広域での取組を拡げ収益改善を図る予定である。

全国市議会議長会 研究フォーラムに参加して ～地方議会議員のなり手不足問題を考える～

8月27日・28日の2日間、札幌市で開催された研究フォーラムに参加しました。

「地方議会議員のなり手不足問題」をテーマにした基調講演やパネルディスカッション、課題討議が行われました。今回のフォーラムに参加した感想の一部を要約して紹介します。

- ▶他市の事例を聞き参考になったと同時に、議会や議員が本来果たすべきことができているのかと反省する良い機会にもなった。
- ▶なり手不足解消のためには、「ガラパゴス化」した選挙制度の大胆な見直しと、地方議会の質の向上、とりわけ、議員の資質向上が求められていると感じた。
- ▶地方議会が抱える構造的な課題を浮き彫りにし、議員の責任、議会改革の必要性を認識させられる意見が紹介された。議員として責務を全うするよう活動したい。
- ▶各地の取組が具体的に紹介され、共感できる部分が多かった。
- ▶まずは自身の議員力を上げなければと痛感した。
- ▶個々の議員力を向上させたうえで一丸となって議会力を向上させ、市政を動かす活動が見えれば、議員になりたいと希望する人は増えてくると思う。
- ▶議員の仕事に関して興味のない、知らない市民が特に若い世代が多い。知ってもらうために、こども議会は有効な手段であると思う。
- ▶公聴活動の拡充、議会の見える化、情報発信など、本市では取り組んでいるものもあるが、更に取組を進めていくことが必要であると感じた。
- ▶「市民の議会への関心度を上げ、投票率を上げるためには」をテーマに議員全員で調査研究し、意見交換等をして新たな取組に挑戦しても良いかもしれない。
- ▶今回学んだことは、①市民との意見交換会の場面を増やすこと。経験価値を重視し信頼を得られる意見交換会を実施すること。②開かれた議会の一層の工夫。③政治と社会をつなぐアプローチとして、子どもたちから体験できるプラットフォームを議会で作ること。できることをすぐにでも模索すべきである。
- ▶自ら十分な時間をかけて調査し、一般質問をすることで資質向上に努め、市民から信頼され魅力ある議会になれば、議員を志す人が増えるように思う。

